

「先祖と私の人生の思いで」(抜粋) 国枝一雄

大正から昭和初期にかけて岐阜地区での少年時代

「郷土とこころ54」(昭和63年) 掲載

(略) 私は大正4年に生まれ、大正8年の水害は小さかったのであまり分かりませんが、大正11年4月1日岐阜尋常小学校に入学しました。校長は関先生で松井先生と2人でした。後で調べたことですが、この年から2学年編成になったそうです。大正11年に大水害があり、1週間も学校が休みになった記憶もあり、この頃から私の人生の始めかと思えます。入学式には父と行き、着物は紺の着物に縞の袴でした。また終業式や卒業式には紋付きの羽織を着て行きました。また、嵐の時には父が迎えに来てくれて嬉しかったことを記憶しています。(略)

大正12年には岐阜に青年会館ができ、そこで岐阜部落で初めての敬老会が行われ、今でも続いています。当時は家で煮物を作って重箱に詰めて持って行かれたことも覚えていません。

4年生の時初めて運動会がありました。また、競馬が岐阜であり、私の家の馬が優勝しました。

大正15年12月25日に大正天皇が亡くなられて、26日から昭和元号になりました。私が5年生の時です。

そして昭和2年3月岐阜尋常小学校を卒業して、4月1日から常呂尋常高等小学校に入学しました。当時は皆歩いて通いました。履物はデンプン靴という短靴で、雪も入るし道の悪い所は靴の中に土も入るし、足は真っ黒でした。靴下などははいたことがありませんでした。冬はコールド天の足袋が一番良い足袋でした。6月には運動会があり、その時初めて学生服を作ることができて着て行きました。

そして昭和4年3月に卒業して、その年から岐阜青年訓練所に入所して、冬は夜学に通い、夏は軍事教練に励みました。

学校卒業と同時に、私は農業が好きだったので父母とともに毎日働きました。また、その頃は汽車がなく、雑穀は夏は船輸送、冬期間は馬そりで網走まで2時間もかかって運んだのです。それがまた若い私たちにはおもしろかったものです。(略)

*注

*運動会：明治44年6月15日 常呂原野岐阜団体簡易教育所で常呂村内で初めてのの

運動会実施 *その後毎年継続したのは不明

*競馬：明治43年頃 上山所有地(第一地区)で草競馬が開かれ、その後も

現岐阜集落センター前付近で行われた。

大正14年 競馬倶楽部岐阜支部結成

*水害：大正11年8月24日 常呂川上流地区および岐阜地区洪水、被害甚大、

降水量100年間で最大。

*青年会館：大正12年 岐阜青年会の青年会館が5線6号交差点に建設

*敬老会：大正14年3月 第1回敬老会開催